

施策：	26	計画行政と効率経営の推進	財務コード	01020302-07-098
基本事業：	03	自主財源の確保	担当部	市民生活部
基本事業の成果指標	収納率（市税等） ふるさと応援寄附金収入額（計画期間内累計）		担当課	収納課
			担当係	収納担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成26年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
納税義務者		収支バランスの崩壊、収入不足、多重債務、各種ローン、事業不振などの問題を解決し、納税に回せる資金を生み出し担税力を確保するとともに、納税意識の高揚を図るために、専門家であるファイナンシャルプランナーへの無料相談を実施している。 【相談場所】市役所内の相談室 【開設時間】6月～3月まで原則月1回（全10回） 偶数月：13時～18時、奇数月：15時～20時 【相談内容】収入支出のバランス、多重債務、ローン軽減、資金調達等 【申込方法】開催前日までに予約（当日、空きがあれば相談可） 【周知方法】催告書に案内のチラシを同封し、納税相談時に案内 相談時には、職員が同席し、FPのアドバイス・指示等を確認し、相談後の進捗状況の把握に努めている。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
納税困難となる原因が、金銭的な資力等があるため、ファイナンシャルプランナーの指導により、収支の改善等を図り担税力を確保してもらおう。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
相談可能枠に対する稼働率（キャンセル含まない）	%	52	60	80	80			80
相談によって納付された額	千円	2,267	2,176	2,267	2,267			5,000
5. コスト								
事業費	計	千円	468	467	468	459		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	468	467	468	459		
正職員人工数	人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費	千円	2,345	2,407	2,514				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	2,813	2,874	2,982	459			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	【状況】令和6年度は50枠に対し、実施件数は38件となっており令和5年度に比較し増加している。令和6年度内に収納に結びついた金額は、前年度より僅か減少し2,176千円でした。 【課題】利用対象の拡大とキャンセルの減少が課題。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

高額事案以外にも対象を拡大し、また庁内の各種債権所管課にも周知し活用を促す。 オンラインでの相談も導入し、柔軟な相談日の設定を可能とすることで相談件数の増加を図る。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
納税意識はあるが納税できない原因として、収支バランスの崩壊、多重債務、各種ローン、事業不振などで納税資力が少ないことが多い。それらを解決できれば、納税の公平性、税収確保も図ることができるという点から事業を開始した。	